

中世 25 室町文化

時代：14世紀から16世紀の室町時代・戦国期の文化

A. 南北朝文化

■時代：*14世紀前期の南北朝動乱期

■性格：*軍記物・歴史書に象徴される動乱期の文化

■歴史書：『**神皇正統記**』（史論書）南朝側にたつ 北畠親房 1339年執筆

：『**増鏡**』（歴史物語）公家の立場から 四境の一つ

：『**太平記**』（軍記物）南朝側にたつ 小島法師著とされる

：『**梅松論**』（歴史書）北朝側にたつ 尊氏の側近の著？

■有職故実：『**建武年間行事**』（後醍醐天皇＝著）

：『**職原抄**』（北畠親房＝著）

■連歌：『菟玖波集』＝**二条良基** 勅撰に準じられる

連歌の規則書→「**応安新式**」を著す

北山文化

■時代：15世紀前期の足利義満の時代を中心

■性格：*幕府支配を背景に、公家文化と融合した武家文化が開花

金閣（**鹿苑寺**）がシンボル（金閣＝**寝殿造**＋禅宗様）



■禅宗文化

*臨済宗は将軍と結び禅宗文化が開花

足利尊氏：**夢窓疎石**に帰依 天龍寺を創建

足利義満：**春屋妙葩**を初代僧録に 五山十刹の制を整備

義堂周信・絶海中津らを登用（政治外交顧問）

漢詩文：義堂周信『空華集』など＝五山文学

水墨画：明兆 → **如拙**（「瓢鮎図」）・周文

■能楽

*義満が観阿弥・世阿弥（大和猿楽四座の観世座）を保護 脚本＝謡曲

世阿弥：『**風姿花伝**』（＝『花伝書』）で芸術論を展開

仏教

■**臨済宗** 武家政権の保護（将軍・守護大名）を受けて、室町時代が全盛期に。

尊氏 + 夢窓疎石と**義満 + 春屋妙葩**のセットは絶対忘れないこと。



整理 I 【京・鎌倉五山】とりあえず五山を押さえよう。南禅寺と一位～三位まで知っていればOKだけど、京・鎌倉がゴッチャにならないように気をつける。上が開山・下が出資者。

	別格 上位	一位	二位	三位	四位	五位
京	南禅寺	天龍寺	相国寺	建仁寺	東福寺	万寿寺
		夢窓疎石 足利尊氏	夢窓疎石 足利義満	栄西 源頼家		
鎌倉		建長寺	円覚寺	寿福寺	浄智寺	浄妙寺
		蘭溪道隆	無学祖元	栄西		
		北条時頼	北条時宗	北条政子		

五山十刹：足利義満の頃

三位がともに**栄西**が開山であることが覚えるカギになる。義満は、臨済宗のお寺のランキングである**五山・十刹**の制（＝臨済宗のお寺は官寺に）を整備した。これは宋の制度のまねで、鎌倉時代に原型が出来ていた、というのは正誤問題対策で発展レベル。これに加えて僧侶のランクも決めたが、その頂点が**僧録司**で、初代に**春屋妙葩**を任命している。（ランク好きな人ですね）

☆五山僧は、幕府の政治外交顧問としても活躍

☆**五山文学**…五山僧による漢詩文の隆盛

ex. **義堂周信**・**空華集**

五山版の出版(中国書籍の再版など ex. 「正平版論語」)

水墨画 **如拙**…「**瓢鮎図**」が頻度で一番 **周文**…「**寒山拾得図**」

建築 興福寺東金堂・五重塔(再建 和様) **鹿苑寺金閣**

庭園 **鹿苑寺庭園**…代表的な池泉回遊式庭園

芸能

古来の神事芸能（＝神に捧げる芸能）であった「猿楽」「田楽」が歌いながら踊る歌舞・演劇の形を整えていく。寺社に属する座が結成され専門的な芸能集団を形成する。

足利義満の保護を受けた観世座の

観阿弥・世阿弥 父子によって芸術性の高い「猿楽能」が完成される。世阿弥の著が→『**風姿花伝**（花伝書）』。を覚えよ！能の脚本を「**謡曲**」と言う。

猿楽の**大和猿楽四座**が隆盛→本所は**観世座**

義満の保護

→世阿弥元能(「申楽談義」、さるがくだんぎ 金春禅竹こんばるぜんちくらが継承
 ...**狂言**...猿楽の滑稽味を継承 庶民劇 能の合間に演じられる。

1374年京都今熊野の演能に將軍義満を迎えて観阿弥・世阿弥親子にとって終生の大事件であった。伊賀の田舎から出発した

東山文化

銀閣…足利義政が京都東山に建てた山荘。義政の死後寺院となり → **慈照寺** と称された。
 キーワード下層 → **書院造** 上層 → **禅宗** 様



内部 → **慈照寺** ・ **東求堂** ・ **同仁齋** を言えるように。

枯山水・同朋衆

禅の精神で統一された庭園① **竜安寺庭園**

② **大徳寺大仙院庭園**

作庭を担当した山水 **河原者** は賤民身分。

東山山荘の庭を作った → **善阿弥**

水墨画 = 遣明船で明に渡り水墨画を学んだ **雪舟**

土佐派の **土佐光信** が **大和絵** を、**水墨画** に **大和絵** の手法を取り入れた **狩野派**の **狩野正信** ・ **元信** 父子。

彫刻…**能面**の制作をした **後藤祐乘**



秋冬山水図(雪舟)

【お茶の簡単な歴史】

3人組を時期を間違えずに覚えるのが大切。「侘」の字、よく間違えるよ。

鎌倉	栄西 が宋からお茶の種を持ちかえる。その上、「お茶は薬になる！」という本『 喫茶養生記 』を書いた。
南北朝期	蘭茶 (お茶の産地当てクイズ大会) ・ 茶寄合の流行。
東山期	村田珠光 奈良の商人で、侘び茶を創始。禅の心をお茶に持

	ち込んで、茶の湯を簡素化した。禅は一休さんに学んだのだった。
戦国期	武野紹鷗 堺の商人 侘び茶をさらに簡素化。
桃山期	千利休 が大成。

華道

池坊専慶：京都 **六角堂** にいて、座敷の床の間を飾る **立花** 様式を確立

樵談治要：樵でも徳をもとに国を治める方法を話している(談) **一条兼良** が9代將軍足利義尚の質問に答えた政治意見書。彼は他にも有職故実書の **公事根源** と源氏物語の注釈で **花鳥余情** がある。【**一条兼良の著作の押さえが勝負に**】

唯一神道： **吉田兼俱** が本地垂迹説などを批判し、神道に仏教・儒学などを取り込んだ教説。
庶民文芸の流行

一寸法師など、おとぎ話として親しまれているのを **御伽草子** と言う。

幸若舞…太鼓を伴奏として謡いながら舞うもの、織田信長が愛好した。

小唄…庶民の間で流行し、口ずさまれた歌謡である。小唄などを集録した → **閑吟集** を記憶したい。早稲田では書かせる問題が出ている。

いろは順に日常用語などを編集した辞書を → **節用集** と言い、奈良の饅頭屋宗二が出版した。

二条良基：彼は南北朝時代の人で北朝の摂政・関白・太政大臣。 **応安新式** → 鎌倉時代からある規則を応安、新しく定めたものなので新式。『**菟玖波集**』は和歌の勅撰集と同格と見なされた。

宗祇 の正風連歌は和歌の伝統を生かした芸術的な連歌、代表作が **新撰菟玖波集**。

山崎宗鑑 はより自由な気風を持つ俳諧連歌を作り出し **犬菟玖波集** を選集した。

風流踊りは祭礼などで趣向を凝らした踊りで庶民に広まった。

盆踊り…祖先の精霊を迎えて供養し、霊を送る行事の時に踊られた。

文化の地方普及 146P

山口…文化の地方普及は、京都の荒廃、貴族の窮乏化、城下町の形成、大名の中央文化への憧れがキーワード、代表的城下町山口は、**大内氏** が **寧波の乱** で細川氏に勝利して以来日明貿易を独占して繁栄し、五山の禅僧や公家が多く集まって文化的に発展した。

禅僧の **桂庵玄樹** は肥後の菊池氏や薩摩の島津氏に招かれて儒学を講義。 **薩南** 学派のもとを開いた。彼が**大内領内**で活動していたことも出た。

足利学校：関東管領 **上杉憲実** によって再興された。**フランシスコ=ザビエル**により**坂東の大学**と称された。庶民の学校ではなく **禅僧や武士に高度な教育を施した** ことが重要。寺院での教育…対象は地方武士の子弟。教科書として『**庭訓往来**』や『**御成敗式目**』が用いられた。

町人による書物の刊行

『**節用集**』は奈良の **饅頭屋宗二** が出版した。

新仏教の発展

林下 …五山より自由な活動を求めて地方武士・民衆へ布教した禅宗諸派の寺院。布教の中心は臨済宗の **大徳寺** ・ **妙心寺**、曹洞宗の **永平寺** ・ **総持寺**。僧では **一休宗純** が出る。

日親 …京都を中心に、中国・九州に日蓮宗を布教した。鍋かぶり日親。頭にかぶつちや



って鍋が使えないんで、カップラーメンを発明したらしい（笑）。

6代将軍足利義教に『**立正治国論**』をもって諫言した。

法華一揆…京都で豊かな商工業者により結ばれる。1532年に山科本願寺を襲撃。

× **天文法華の乱** …1536年、日蓮宗と対立を深めた延暦寺は、僧兵を京都に侵入させ日蓮宗寺院を焼打ちにした。

蓮如 …応仁の乱の頃、経ではなく平易な文章を **御文** を使って阿弥陀仏の救いを説いた。また、**講** を組織し、特に北陸・東海・近畿に広まった。蓮如は石山本願寺の基礎を築いた僧であり、本願寺 **8** 世の法主である。一橋大の論述でも出た。

室町文化 法政大(経済・現代福祉・社会)2016

1 次の文を読み、下記の問いに答えよ。

室町時代は、日本の伝統的な文化の原型が築かれた時代である。この時代において幕府が京都におかれたことや (i) 大陸との活発な交流にともなって、武家文化と公家文化、大陸文化と伝統文化の融合が進んだ。また、惣村と都市の民衆も交流し、中央と地方の融合が進み、日本全体に広がる幅広い文化が生み出された。しだいに、これらは洗練され、調和していくことによって日本固有の文化ともいべきものが形成されていった。今日、日本の伝統文化の代表とされる能・狂言・茶道・華道などが生まれ、中央・地方・武家・公家・庶民の別なく愛好され、発展したのである。

室町時代の文化の流れには、【A14】世紀末から始まった北山文化と【B15】世紀後半の東山文化という2つの頂点がある。1つ目の頂点は、【C3】代将軍【ア 義満】が京都北山につくった華麗な別荘にちなんで北山文化とよぶ。この別荘である金閣（あ **鹿苑寺**）の建築様式は、伝統的な【1 寝殿造】と禅宗様を折衷したものである。この様式にあらわれているように北山文化は、公家文化を基調にしつつ、大陸文化が大きな影響を及ぼした。

なかでも (ii) ある国の官寺の制にならった五山・十刹の制が、ほぼ完成した。幕府は武家社会に広まった【2 臨済宗】を保護し、【イ 夢窓疎石】が初代将軍【ウ 足利尊氏】の帰依をうけ大いに栄えた。京都五山は、天龍寺・相国寺・建仁寺・東福寺・【い 万寿寺】で、【う 南禅寺】を五山の上に置いた。五山の僧には中国からの渡来僧や中国帰りの留学僧が多く、彼らは水墨画や建築・庭園様式などを広く伝えた。学問の研究や漢詩文の創作もさかんであり、【エ 絶海中津】、義堂周信らが出て、五山文学が最盛期を迎えた。

一方、能は、古くは神事芸能として出発した猿楽や田楽などから発展した。当初は、様々な芸能を含んでいたが、しだいに歌舞・演劇の形をとるようになった。この頃、寺社の保護を受けて能を演じる専門集団である座が現れた。なかでも【え 興福寺】を本所とした四座を【3 大和】猿楽四座という。その中でも父の【オ 観阿弥】と子の【カ 世阿弥】は、芸術性の高い猿楽能を完成させた。父子は、能の脚本である【4 謡曲】を数多く著した。また、子の【カ 世阿弥】は、能の真髓を述べた【a 風姿花伝】をまとめた。

第2の頂点である東山文化は、【D8】代将軍【キ 足利義政】が、応仁の乱後京都の東山に山荘をつくり、そこに銀閣（お **慈照寺**）建てたことによる。この文化は、禅の精神にもとづく簡素さと伝統文化の幽玄・侘を精神的な基調としていた。銀閣の【5 寝殿造風】および【6 東求堂】同仁齋にみられる【7 書院造】は、近代の和風住宅の原型となった。この様式の住宅や禅宗様の寺院には、禅の精神で統一された庭園がつけられた。その

代表的なものが、竜安寺・【か **大徳寺**】大仙院にある岩石と砂利を組み合わせる象徴的な自然を作り出した【8 枯山水】である。

また新しい住宅様式においては室内の装飾が発達し、掛軸・襖絵などの絵画、床の間を飾る生花・工芸品を発展させた。

日本の伝統文化を代表する茶道（茶の湯）、華道（生花）の基礎もこの時代につくられた。茶道では、【ク **千利休**】が、禅と茶の精神を統合し、【9 侘茶】を創出した。禅の影響により独特の哲学と美意識が茶の湯で実現された。

また、民衆が文化を集団で楽しむのも室町時代の特色である。より素朴で娯楽的な能が各地に根をおろし、風刺的な狂言をあいまにはさんで、民衆のあいだで演じられた。連歌は【b **菟玖波集**】を撰した【ケ **二条良基**】によって和歌と対等の位置を得て発展した。応仁のころ【コ **宗祇**】が【c **新撰菟玖波集**】をまとめ、【10 正風連歌】を確立し、全国をめぐりその普及につとめた。その弟子と一緒にあらわしたものが【d **水無瀬三吟百韻**】である。絵入りの短編物語である御伽草子も、人々のあいだで読まれ語りつがれた。この他に小唄などが生まれ、歌集として【e **閑吟集**】が編集され、庶民が文芸に親しむようになったのである。

問1. 文中の空欄【ア】～【コ】にあてはまる人物名を下記のa～xから選び、その記号をマークせよ 【テキストには漢字で記せ】

- a. 足利義教 b. 二条良基 c. 村田珠光 d. 長谷川等伯 e. 足利義持 f. 足利義満
g. 宗鑑 h. 千利休 i. 足利義政 j. 後藤祐乗 k. 北畠親房 l. 観阿弥
m. 能阿弥 n. 夢窓疎石 o. 善阿弥 p. 如拙 q. 明兆 r. 足利義昭 s. 絶海中津
t. 宗長 u. 足利尊氏 v. 周文 w. 世阿弥 x. 宗祇

問2. 文中の空欄【あ】～【か】にあてはまる寺の名前を下記のa～lから選び、その記号をマークせよ。

- a. 建長寺 b. 浄智寺 c. 慈照寺 d. 浄妙寺 e. 鹿苑寺 f. 円覚寺 g. 寿福寺
h. 興福寺 i. 万寿寺 j. 南禅寺 k. 本願寺 l. 大徳寺

問3. 文中の空欄【1】～【10】にあてはまる作品名を下記のa～jから選び、その記号をマークせよ。

- a. 「庭訓往来」 b. 「菟玖波集」 c. 「節用集」 d. 「新撰菟玖波集」 e. 「風姿花伝」
f. 「閑吟集」 g. 「応安新式」 h. 「水無瀬三吟百韻」 i. 「犬菟玖波集」
j. 「申楽談儀」

問4. 文中の空欄【1】～【10】にあてはまる語句を下記のa～tから選び、その記号をマークせよ。

- a. 俳諧連歌 b. 臨済宗 c. 大和 d. 曹洞宗 e. 枯山水 f. 闘茶 g. 上層
h. 東求堂 i. 謡曲 j. 権現造 k. 書院造 l. 開山堂 m. 舞楽 n. 回遊式庭園
o. 寝殿造風 p. 下層 q. 正風連歌 r. 侘茶 s. 近江 t. 数寄屋造

問5. 文中の空欄【A】～【D】にあてはまる正しい数字の組み合わせを下記のa～fから一

つ選び、その記号をマークせよ。

- a. (A)13 (B)15 (C)3 (D)6
- b. (A)14 (B)15 (C)3 (D)8
- c. (A)14 (B)16 (C)2 (D)7
- d. (A)14 (B)15 (C)2 (D)6
- e. (A)13 (B)14 (C)3 (D)8
- f. (A)12 (B)14 (C)2 (D)7

正解→b

問6. 下線部 (i) の地域はどこか、あてはまる地域を下記の a~e から一つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 東アジア
- b. 西アジア
- c. 南アジア
- d. 北アジア
- e. 中央アジア

正解→東アジア

問7. 下線部 (ii) のある国の国名を下記の a~e から一つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 明
- b. 北宋
- c. 南宋
- d. 唐
- e. 元

正解→南宋